

北海道社会貢献賞 (消費生活関係功労者) 受賞者の功績概要

荻野 久枝 (おぎの ひさえ) 様

伊達消費者協会会長

伊達消費者協会の指導者として長年にわたり消費者教育、人材育成に努め、自ら消費生活相談員として事業者とのあっせんを積極的に行うほか、春と秋の青空フリーマーケットや消費生活展、料理研修会の継続した開催など、消費者への啓発と後進の育成に努め、協会会員の増強に尽力してきた。

優れた識見、人柄から、伊達消費者協会会員からの信頼は高く、長きにわたり指導的役割を果たしてきた。そのたゆまぬ努力と活動は、地域における消費者利益の擁護、増進に大きく貢献しており、功績は多大である。

西出 真理子 (にしで まりこ) 様

札幌消費者協会元相談課長

札幌消費者協会の消費生活相談員として、23年間相談業務に従事し、札幌市民及び札幌通勤圏の道民の相談に真摯に対応し、的確な助言や積極的なあっせんにより、消費者被害の未然防止及び被害救済に尽力した。相談件数は記録が残っている平成17年以降で約14,226件、あっせんも1,100件を超えている。

平成26年から相談課長を務め、退任後も相談リーダーとして相談員の指導助言に当たってきた。この間、相談カード入力に関連資料の集約を行い、定期的に「PIO-NET かわら版」として、相談カードに関する注意事項を作成、発行するとともに、自ら講師となって勉強会を行うなど、相談員の規範となっている。

また、令和3年4月より札幌簡易裁判所の民事調停委員に就任し、専門知識を活かして紛争の迅速、柔軟な解決に尽力しており、その功績は顕著である。

吉田 智恵子 (よしだ ちえこ) 様

上砂川消費者協会副会長

上砂川消費者協会の理事、副会長、会長という重責を歴任し、長年にわたり消費者協会活動の指導的役割を担って来られた。特に、消費生活の合理化を目的とした衣類や和服のリメイク講習会の指導などを長年行い、地域への普及啓発に献身的に力を注がれた。

また、近年ではデジタル化に取り残されている町内の高齢者のために、スマートフォン講座の開催やフードドライブを手掛け、食品ロスの削減と地域の社会福祉にも寄与されている。

さらに、上砂川町消費者被害防止ネットワークの会長も務められ、地域における消費者教育や消費生活の安定と向上に大きく貢献されており、その功績は多大である。

<北海道社会貢献賞(消費生活関係功労者)>

多年、消費者利益の擁護及び増進を図るため、消費者支援活動に貢献し、極めて顕著な功績のあったものに、その功績をたたえ顕彰し、北海道知事が贈呈する。